

生活指導だより

平成24年9月27日

練馬区立早宮小学校

生活指導担当 菅野 泰弘

夏休みが終わり、およそひと月が経とうとしています。

9月下旬になり、それまでの猛暑続きの毎日が打って変わったかのように、不安定な天候が続いています。季節の変わり目だからでしょうか。体調を崩す子供が増えています。日々の体調管理とともに、子供も大人も健康で過ごせるよう、体をしっかりと休める時間をとることも大切です。

さて、7月号では、「夏休みを安全に過ごすためのこと」についてお伝えしました。ご家庭や地域で過ごす様子はいかがでしたか。

今月号では、高学年の子供たちの様子とともに、再度、「情報モラル」についてお知らせします。ぜひ、ご家庭でも身近なこととして受け止め、話題にしてください。

高学年の子供たちの素敵なおとこころ



朝の登校時にて...

4月から変わらず、靴箱で上履きに履き替えた後、挨拶をする相手の前できちんと立ち止まって、明るい声で「おはようございます!」を続けられる子供。素敵です。

委員会活動にて...

日替わり・週替わりの当番活動に取り組む委員会は多くあります。自分の担当する日にちをきちんと覚えて、責任をもって活動できる姿も大切です。さらに素敵なのは次の担当の人に自主的に「引き継ぎ」ができる子供たちがいることです。

休み時間にて...

時間を守って校庭に出入りすることはもちろん。時間の中で、散らかってしまっている遊び道具の片づけをきちんとする姿も見られます。下級生のお手本です。

こうした姿を、教職員の多くの目で見取り、認め、そのことをきちんと子供たちに伝えることで、素敵な言動が学校全体に広がっていくよう取り組んでいきます。

子供たちの「情報モラル」をご家庭でも考えましょう

インターネット等による犯罪被害が多く報じられています。先日、練馬区の中学生在がコンピューターウイルスを配布したとして、書類送検されたとの報道がありました。また、メール等によるいじめの被害も増加傾向にあります。このように、子供たちがトラブルに巻き込まれる事例が増加し、その対策が緊急の課題になっています。



将来、社会に出ていく子供たちにとって、インターネットなどの活用能力は必須です。パソコンなどの情報機器の利用は避けては通れません。学校では日常的に情報モラルの指導を行っています。また、学校で学習に使っているコンピューターは、フィルタリングソフトやウイルス対策ソフトを導入し、安全性に配慮しています。

子供たちの情報機器の活用能力は、大人の想像を超えている場合がほとんどです。「うちの子に限って」ではなく、どの子も被害に遭う可能性があり、加害者になる可能性がある、という危機感を大人がもつことが大切です。

ご家庭でも、インターネットや携帯電話などの情報機器を利用する際に、守るべきルール、マナー、危険から身を守るための注意事項をお子さんとともに確認し、安全で正しい活用の仕方について話し合ってください。